

良質な取り組み広げる



厚生労働省雇用環境・均等局在宅労働課長 宮下 雅行氏

厚生労働省は適切な労務管理の下における良質なテレワークの普及促進を図るため、様々な施策を展開している。

講演 プロジェクト管理の知恵でテレワークの第2ステージへ - ICTによる仕事の可視化が、イノベーションを可能にする -



シナジー研究所代表取締役社長 依田 智夫氏

オープンソースで容易に

コスト、納期のバランスを取りながらパフォーマンスを最大化するためのノウハウ。オープンソースのシステムをうまく使うことで、ガントチャートを自動生成して工程を可視化するなどの工夫が、コスト削減や生産性の向上に大きく貢献している。

限界に挑戦 信念貫け



慶應義塾大学大学院 商学研究科教授 鶴 光太郎氏

基調講演 新常態における新たな働き方 ジョブ型とテレワークの親和性は？

コロナ禍はしばらく続く。ウィズコロナを前提に産業構造や制度の変革を考えると、ジョブ型とテレワークの親和性は高い。企業は生産性を示すために、ジョブ型とテレワークの推進を促す必要がある。

Smart Work 経営 企業の挑戦 トップが主導する企業のテレワーク戦略 導入加速と定着工夫を

コロナ禍で一段と重要性が増したテレワーク。この働き方を組織に定着させる鍵は、企業トップの理解とイニシアチブだ。そこで日本経済新聞社は2月12日、「日経スマートワークプロジェクト」の一環として第4回「トップが主導する企業のテレワーク戦略」をオンラインで開催した。

日経チャンネルでも配信 ▶ https://channel.nikkei.co.jp/e/telework202102

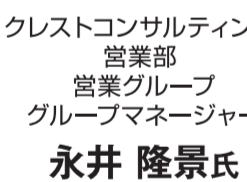


「非対面のデジタル営業」で営業活動をテレワーク化。次世代営業マネージャへのニューノーマルセルスのススメ

営業組織や営業マネージャの課題は、リソースやスキルの不足をいかに補い、営業生産性を高めるかだ。オンライン営業では、一般環境の変化後も変わらぬ。成果上げる専用システム



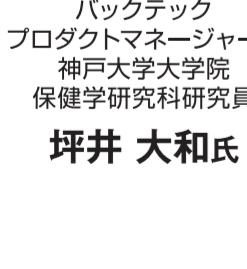
「できることを考える」 田澤 昨今4月の緊急事態宣言時、経営視点から何を考え、どう動いたか。石井 保育事業もテレワークにした。オンラインで保育計画を立てたり、家庭で過ごす園児向けに遊びを提供したりした。お客様に喜ばれるサービスを提供するには、社員の手配を大切にしなければならないことを痛感した。



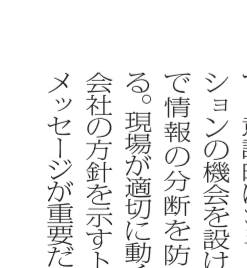
「オンラインに全振り」施策を実施した。セルス部門に取引先から訪問の依頼があっても「会社の方針としてオンラインでお願いします」と一言を言うようにした。これにより当社は真剣にワークスタイルを考えている会社だという理解が広がったと感じている。



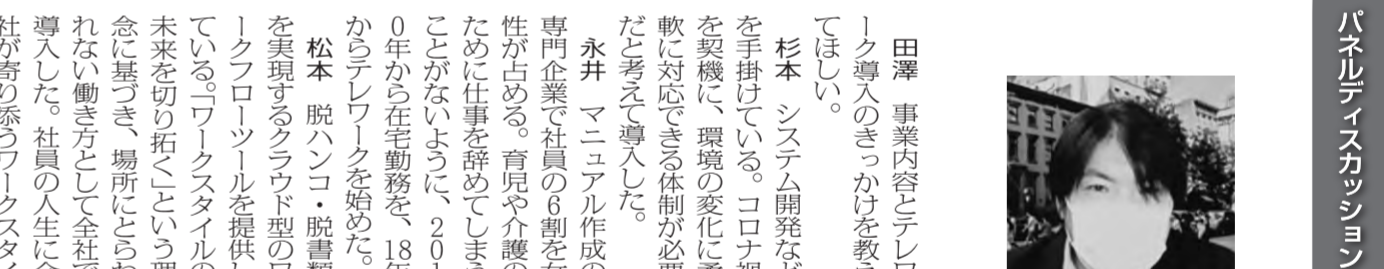
「環境づくりに注力」 田澤 テレワーク推進の工夫について聞きたい。杉本 固定型の本社オフィスと、コアエリアの分散型を併設する。これによりリモートワークの導入が加速した。



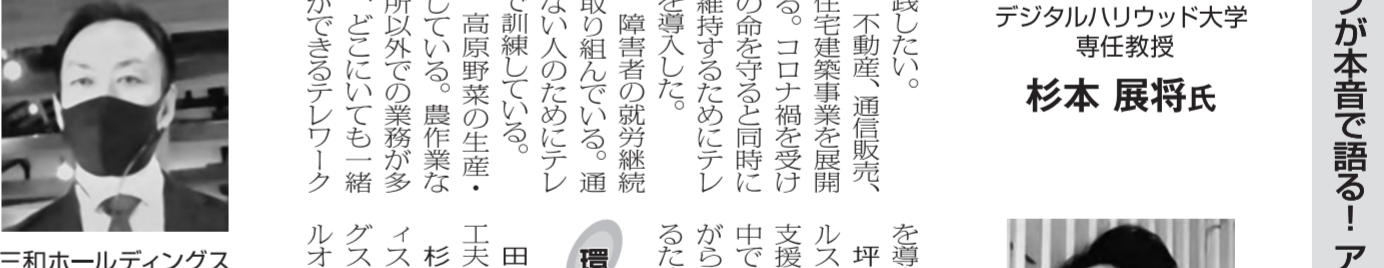
「環境づくりに注力」 田澤 テレワーク推進の工夫について聞きたい。杉本 固定型の本社オフィスと、コアエリアの分散型を併設する。これによりリモートワークの導入が加速した。



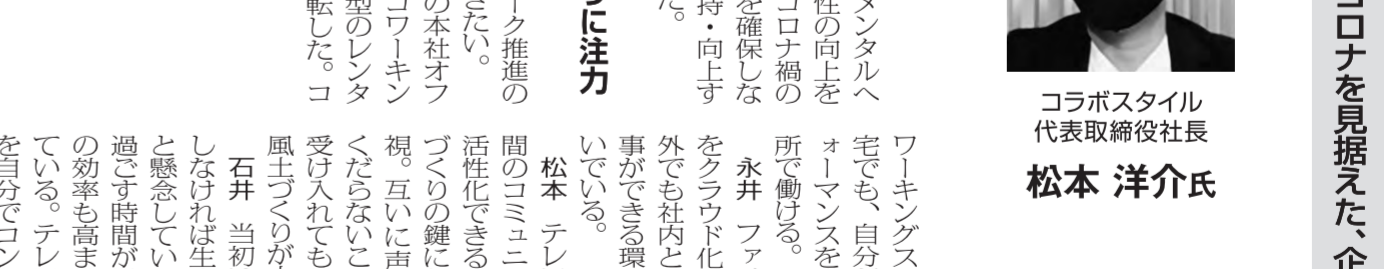
「環境づくりに注力」 田澤 テレワーク推進の工夫について聞きたい。杉本 固定型の本社オフィスと、コアエリアの分散型を併設する。これによりリモートワークの導入が加速した。



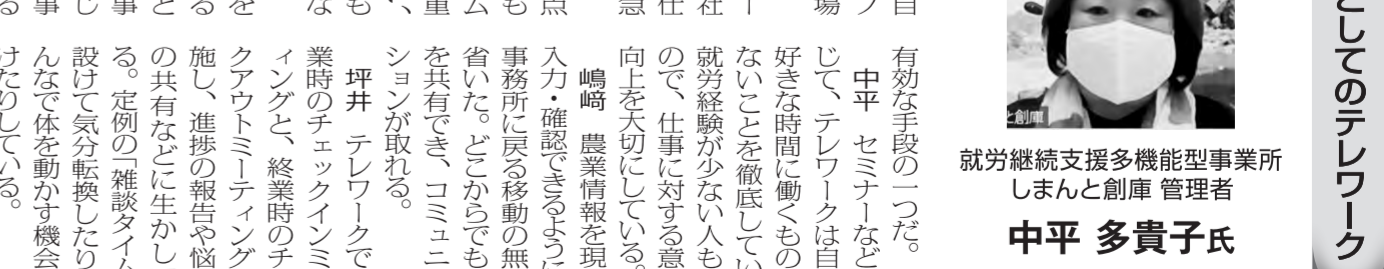
Wizテクノロジー 代表取締役CEO / デジタルハリウッド大学 専任教授 杉本 展将氏



三和ホールディングス 代表取締役社長 石井 清悟氏



トップリバー 専務 嶋崎 田鶴子氏



コラボスタイル 代表取締役社長 松本 洋介氏



就労継続支援多機能型事業所 しまんと創庫 管理者 中平 多貴子氏